を守ります。 ションに立ち、 ギラギラと照りつ 七夕通りの清潔 0 ミンショ

ます。 志の方々にご協力いただいて学園以外にも「多くの団体」 い 有

マ」があれば、何かできそうで飾りっていいと思います。「テーいもの、参加者の思いが伝わる 交差点など。 工夫が必要かと思いますが、何すよね。搬出入や展示場所など とかなるのでは。 商店街の空いているところや 大きいもの、 小さ

来年は55回。 取り組むには、

カ



Ľ

フリシス

ん ?」 「そんなとこで何をやっ とるだ

す。 す 「バッジ売りの男をやってい 今年はアブのデザインで ま

のを楽しみ」にしていただいてッジは3種類なんですが「出る 会話も弾みます。 さん、なんとなく晴れやかで、 な方との出会いがあります。 七夕での楽しみに、いろい いる方もあり、 わたしたちも、 まだ、 凧のバ 皆 ろ

る七夕まつり。来年もバッチ売多くの出会いを演出してくれ大変励みになります。 りかなー 来年もバッチ売



になりましたが…。 ていました。 通りはかなりの人出でにぎわっ なりましたが、 の4日は、 タまつりは盛況でした。 市制55周年で第54回の安城七 岡崎の花火大会と重 夜8時過ぎに雷雨 午後4時には、 2 日 目

方からいらっしゃって、七夕まの同窓会支部総会に出席された。同窓会の方々が、遠副学長や、同窓会の方々が、遠副学長や、同窓会の方々が、 りを見物されました。 3日間通して祭りを楽しむ子 市が災害時相互応援協定を結





ます :. を七夕まつりに合わせる人たち しむ人が、ますます増えていき…。安城七夕まつりを心から楽 、よう に

新しく感じました。若い人たち新しく感じました。若い人たちのり物に触れるのは、とても目ネーションを見ながら、七夕の した。 は浴衣を着て、 しにとって、安城の七夕まつりまつりを見に行きました。わた もちゃを持って、 は初めてです。 い姿を見て、 一緒にうちわを持って安城七夕 8月5日、 その喜びに浸ってい わたしたちも心を わたしと家族は、 暑い夜、 子どもたちはお みんなの楽し イルミ ま



4月から、七夕当日に向けて、 カがありました。 4月から、七夕まつり協賛会をは たち、協賛や後援をしていた だいた企業など、多くの人の協力 があったのか、皆さん知ってい たいた企業など、多くの人の協力 がありました。

に会った友人が言いました。と、準備にかける時間の長さ 準備の毎日。 すうちに、 関係している人の多1。そんな日々を過ご

> 安城市役所商工課 担 当 A

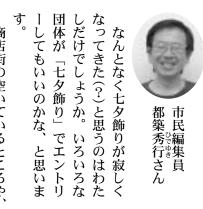
楽しんでもらいたいという思いりに来ていただいた人たちに、ができたのです。そして、まつの人の力があることを知ること まつりを楽しく感じることがでがあったからこそ、自分自身も きたのだと思います。

つ生生ば、 2ヵ斤つゴミステー	土・日の二日間で、のべ10人	徒たち。	て活動するさくら学園の女子生	その中で清掃ボランティアとし	るような暑さの七夕まつり会場。	昼間は、35度を超えて、うだ	
ζ	く		女	ア	Ŋ	•	ì
-	160		子	と	会	う	/
	人		生	l	場。	だ	



市民編集員

牟国人トこう、多くつ日本、言	Ж	61	た	わ	お	流行りの浴衣で街を行きかう	み	た	赤	ける太陽で彼女たちの顔は真っ
Ţ	清	Ξ	ち	た	嬢	流	ţ	タ	で	る
L	掃	ス	が	U	さ	行	◎分	オ	す	太
١.	ボ	七	+	Ē	$\overline{h}$	Ŋ	휜	Ň	0	陽
Ż	※清掃ボランティアは、さくら	夕	ラ	は	も	Ō	を	で	軍	で
5	ン	に	キ	``	き	浴	U	浯	手	彼
`	テ	見	ラ	ジ	れ	衣	τ	を	を	女
3	イ	え	と	ヤ	61	で	61	ふ	は	た
~	ア	ま	輝	1	で	街	ま	き	め	ち
)	は	l	61	ジ	す	を	す	`	`	の
F	`	た	τ	姿	0	行	0	黙	首	顏
k	さ	0	`	の	U	き		々	E	は
•	<		美	彼	か	か		と	か	真
ī	5		美し	彼女	かし	う		تح	け	う
-										







員が語ります。 今回の七夕を通して、見たこと、感じたことを市民編集